オレオレ詐欺の憂鬱

猿読み

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
オレオレ詐欺の憂鬱

【Ｎコード】
Ｎ４９６４Ｃ

【作者名】
猿読み

【あらすじ】
オレオレ詐欺を目論む、二人の若者、使えない先輩と毒のある後輩の奮闘記。

「いいか、　俺が孫役で、お前が医者役な！よし一回練習やるか。」

「先輩、今更おれおれ詐欺なんて通用しますかね？」

「馬鹿かお前は？今更だからいいんだよ！なんか懐かしい感じだろ？」

「はい、なんか懐かしい感じッスね……だから？」

「だからって……理由はねぇよ！」

「……」

「……」

「無いんだ……」

「……おいテメェ今ちょっと馬鹿にしただろ？少し間を置いて

馬鹿にしただろ？」

「はい」

「……ちょっとそういうの傷付くから止めてね……」

「……了解しました。」

「おい！ちょっと待て！今なんで少し考えた？
なんだ反抗期か？
やんのかコラァ！！……ちょっと待て！！ナイフは反則だ。……今の冗談だから……ちょっとしたオチャメ心だからな！な！」

「さっさと電話しませんか」

「…うん……するから、まずそのナイフ置こうな！ついでに心のナイフもしまってくれないか？
……スイマセン調子乗りました←勘弁して下さい。」

「いいから、電話しろよ！！」

「はい……でも練習は？」

「しなくても、出来んだろ！！」

「おっしゃる通りです。こういうの下剋上って言うんですよね。……スイマセン喋り過ぎました。お願いですから首元から、そのナイフどけてください（涙」

「いいから電話しろ！」

「はい、解りました。」

ピポパポ♪

トゥルルン、トゥルルン、ガチャ！！

「もしもし、どちらさまですか？」

「俺、俺だけど今下剋上にあってしまって、どうしても明日に飛び立つ羽が必要……ツーツー、ツーツー。」

「……先輩……俺もその羽欲しいッス……」

ＥＮＤ

（後書き）

よかったら他の作品も観て下さい。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n4964c/

オレオレ詐欺の憂鬱

2010年10月10日17時26分発行